

令和7年12月議会一般質問

《プレゼン資料》

2. 災害への備え、地域防災力の向上について

○簡易型津波避難タワーの設置

3. 持続可能な行財政の運営に向けた対策について

○歳出削減策と業務のDX化

会派 久比岐野 江口修一

まず、わが身！ 率先避難

直江津地区関川右岸(港町1・2丁目)地域 避難行動計画

港町1・2丁目町内会 409世帯 785人70歳以上(30%)

港町1丁目(A・Bエリア)243世帯509人

70歳～100歳:184人(36%)

港町2丁目(Cエリア)276人 166世帯

70歳～100歳:54人(20%)

資料提供 令和6年6月現在(上越市より)



上越市長
村山 秀幸様

No.2

＜港町地内への津波避難施設の整備について＞

要 望 書

2014年（平成26年）2月6日

港町1、2丁目町内会
会長 大 石 一 夫





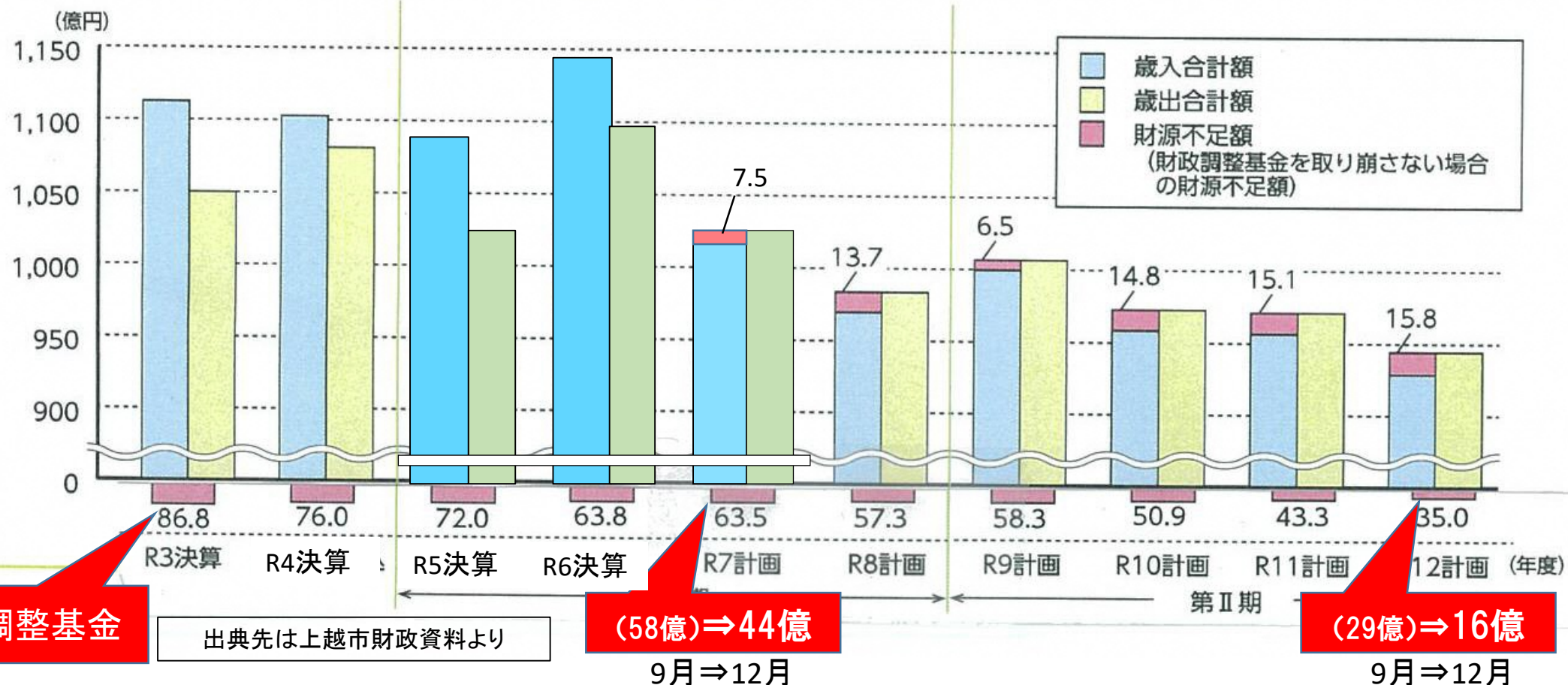
静岡県内にある津波避難タワー 高さ7m～8m 収容人数100人～ 工事費5千万～8千万



令和7年12月現在の「第3次財政計画」進捗状況

8年間、収入より支出が大きい計画はおかしい 尚且つ財調を使い続ける計画は感心しない

年度別収支計画の概要



財政再建の道は歳出にあり

最大の問題は財調を使い続ける計画は感心しない。
収支の帳尻があっていない。(第三次財政計画)

歳出は減らした分だけ楽になる
財政再建は歳出ベースでやるべし

行政改革 早急に予算編成を見直せ(令和9年より2期目)

- ◆財政の運用ルールの厳格化
- ◆財政調整基金を基準まで溜める事(50億)
- ◆臨財債を含めた債務の圧縮を着実に遂行すること
- ◆目的外の基金の取り崩しを禁止すること
- ◆原則的に不用意な債務は認めない

行政のDX化推進

5年後自治体
職員の減少

業務量は変わらない
人だけが減る

経験と勘からでなく、
データに基づく政策形成

生成AIが政策形成を劇的に変える

情報収集の圧倒的
な高速化

多様な視点からの
対策提示(福祉・災害)

DX人材の育成

強い者・賢い者が生き残るのではなく、変化に対応できた者が唯一生き残る